小口水素アプリケーションの製作等を通じた人材育成プロジェクト　令和６年度事業イメージ

こうふ グリーンラボ

事業の目的

水素の普及及び利活用の拡大を目的に、国立大学法人山梨大学、（一社）FCyFINE PLUS、甲府工業高等学校専攻科創造工学科が連携・協力し、水素・燃料電池ドローンの製作・実習を通じた水素リテラシーの向上や、将来の技術者・研究者としての人材育成を図る。

事業スキーム

甲府市、国立大学法人山梨大学、（一社）FCyFINE PLUS、甲府工業高等学校専攻科創造工学科の４団体によるプロジェクトチームを結成し、水素・燃料電池に関する講義及び水素アプリケーションの製作・実習を通じた人材育成を行う。

プロジェクトチーム

- **甲府市**：本プロジェクトを円滑に進行するための管理・監督を担う。
- **山梨大学**：運営主体として、プロジェクトの進行を担うとともに、水素・燃料電池等に関する講義の実施や専門的な意見、助言を行う。
- **FCyFINE PLUS**：幅広い分野からの意見や助言、関係機関等への情報発信及び水素人材の地元企業への定着を図る。
- **甲府工業専攻科**：山梨大学による水素・燃料電池に関する知識の習得、㈱ロボデックスによるドローンの技術的支援を受けながら、 FCドローンの製作・実習を行う。

技術支援

- **㈱ロボデックス**：甲府工業高校専攻科の学生に対し、FCドローンの製作から飛行までの一連の技術的支援を行い、本プロジェクトをサポートする。

実習のスケジュール

７月のRobo-Dexによるドローンに関するレクチャーを皮切りに実習を開始。山梨大学の水素・燃料電池の講義により、専門的知識を習得する中で、８月にFCドローンの製作・実習を開始。完成は翌年２月頃を予定しており、完成したドローンを年度末に飛行させる予定。